

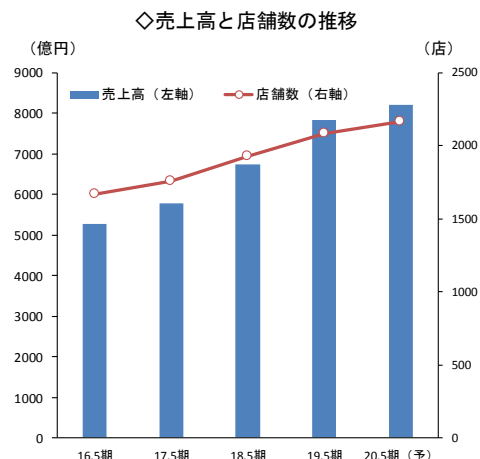
企業ニュース ツルハホールディングス

(東証1部 : 3391) <http://www.tsuruha-hd.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

プライベートブランドの拡販に注力

北海道・東北地盤の大手ドラッグストア。積極的なM&Aで全国展開を進めており、関東のくすりの福太郎、西日本のツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、四国のレディ薬局などを傘下としている。近年は静岡県の杏林堂グループ・ホールディングス、愛知県のビー・アンド・ディーホールディングスの子会社とするなど、中京圏での販売強化を図っている。商品施策では、19.5期にグループ共通のプライベートブランドとして「くらしリズム」を立ち上げ、同期末までに191SKU(在庫管理の単位)を発売した。20.5期末に500SKUとする方針であり、ブランドの認知度向上や売上高構成比の拡大により、利益率の改善を図る。



(出所) ツルハホールディングス資料よりCAM作成

増収効果と粗利益率の改善で順調な滑り出し

20.5期・第1四半期(5月16日-8月15日)の連結業績は、売上高が2,088億円、前年同期比9%増、営業利益が126億円、同12%増。既存店売上高は同1.9%増、客数は減少したが、客単価の上昇でカバーした。粗利益率は同0.4ポイント改善の28.6%、調剤を含めた医薬品と「くらしリズム」の販売好調が寄与した。販管費は人件費を中心に同11%増となったが、増収効果と粗利益率の改善で吸収し2桁営業増益となった。

20.5期の通期会社計画は、売上高が8,200億円、前期比5%増、営業利益が437億円、同4%増。既存店売上高は、同0.8%増を前提としている。9月の既存店売上高は前年同月比5.3%増と、消費増税前の駆け込み需要を取り込んで堅調に推移した。粗利益率は前期比0.3ポイントの改善を計画している。「くらしリズム」の拡充や化粧品販売の強化が寄与する見込みである。また、適切な人員投入のためのシフト作成支援システムや調剤ロボット・機器を導入して店舗作業を効率化し、人件費の抑制を図る。

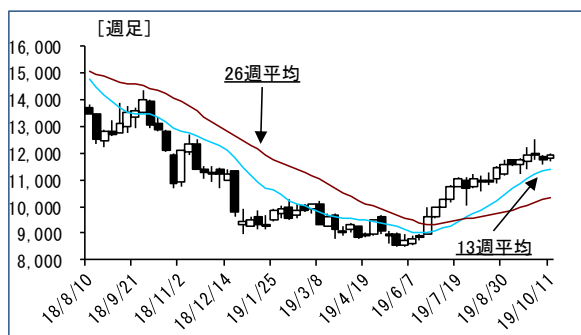
【株価動向・投資判断】

堅調な業績を背景に株価は上昇している。堅調な売上成長やシステム活用などによる販管費の抑制により、利益成長が期待できよう。

<3391 ツルハHD 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高 百万円 (伸び率)	営業利益 百万円 (伸び率)	経常利益 百万円 (伸び率)	当期利益 百万円 (伸び率)	1株利益 円	1株配当 円
18.5	673,238 (17)	40,236 (14)	41,610 (13)	24,798 (7)	515.3	146.00
19.5	782,447 (16)	41,826 (4)	43,313 (4)	24,824 (0)	513.8	148.00
20.5 予	820,000 (5)	43,700 (4)	45,200 (4)	26,100 (5)	539.6	148.00



株価(2019/10/11)	11,910 円
年初来高値(高値日)	12,490 円(19/9/24)
同 安値(安値日)	8,510 円(19/5/24)
予想P E R(20.5予)	22.1 倍
1株株主資本(PBR算出用)	4,380.3 円
P B R	2.72 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金年148.00円)	1.24 %
R O E(19.5)	12.5 %
発行済み株式数	4,925 万株